

【熊本S. J. C. D. 例会抄録】

演題:審美障害を訴える患者にオールセラミックにて補綴を行った1症例

演者名 : 飯干光男

日付 2016年9月27日

keywords

1. オールセラミック
2. 審美性

抄録

SJCDの中心的なコンセプトは、esthetics, function, structure, biologyであるが、審美性への不満を主訴として来院した患者にとって、治療後の希望に添えない結果は、術者への不信感や、治療費が高額であれば「怒り」へ繋がり、トラブルの原因にもなりかねない。

一方で、患者と術者の間で「治療の価値観」(エナメル質を削合すべきかどうか等)や、「美しさの基準」の相違は、ある意味当然とも言える。だからこそ、術者は患者の要望を十分に理解し、また術者の考えを理解しやすいような形で伝える技術と能力が必要となる。

今回審美治療を主訴に来院した患者にオールセラミックによる補綴を施し、患者の満足を得ることが出来ず、再治療に至ったケースを提示します。

皆様のご意見を頂ければ幸いです。